

2020 年度労使関係研究協会事業計画

労使関係研究協会の 2020 年度の活動は前年に引き続き、労働講座、講演会、広報活動を中心に展開する。ただし労働講座の事業は概ね所期の目的を達成、今後開催数の減少が見込まれることから、新たな事業の展開を検討していく必要がある。日本労働会館の活動全体の中での取り組みを重視していく。

1. 具体的な事業活動

(1) 労働講座の開催

労働講座（私の労働運動史を語る）を継続して開催し、戦後労働運動の記録として保存していく。関西においても開催に向けて努力する。

(2) 講演会、研究会、研修会の開催

① 講演会

内外の労使関係に関する講演会ならびに友愛労働歴史館と共催する講演会を、年 2～4 回開催する。関西は研究活動として年 2 回開催する。

② 研究会

日本の労使関係に関する情報収集、研究活動を行う。関西では研究会を年 1 回開催する。

③ 研修会

工場視察、団体会員の施設訪問、公共施設見学等を、東京と関西でそれぞれ年 1 回行う。

(3) 広報活動

① ホームページ

労使研の広報活動として、ホームページを都度更新していく。

② 「情報」の発行

電子メールを活用し、都度、迅速に上布発信していく。

③ 会報の発行

労使研の年間活動報告として、評議委員会に合わせて年 1 回発行する。

④ 「きずな」の発行

当面年 1 回発刊（12 月）をするべく、幅広く執筆者を募集する。

(4) その他

- ① 各労働組合の基本調査（年2回）を実施する。
- ② 大会の祝電・メッセージの送付、並びに各組織の「活動報告書・議案書の収集を行う。
- ③ 構成員・団体に対する各種アンケート調査や講師紹介などの支援活動を行う。
- ④ 会員への個別対応活動や労働相談窓口としての機能などの活動を行う。

2. 公益事業推進委員会の定期開催

労使研活動の企画・推進のために、公益事業推進委員会を、年1回以上開催する。

3. 一般財団法人日本労働会館の活動の一翼を担う

- ① 「友愛労働歴史館」との連携を密に、事業推進体制を強化する。
- ② 「友愛会創立を記念する会」の事務局を、友愛労働歴史館と協力して担っていく。
- ③ 友誼団体との連携
連合、政策研究フォーラム、核兵器廃絶・平和建設国民会議（KAKKIN）、国民民主党、民社協会、アジア連帯委員会（CSA）等との連携を強化していく。
- ④ 関西支局との連携
従来通り、労使関係研究協会の各種活動を推進するとともに、運営会議を開催する。また友愛労働歴史館事業についても、東京、関西の連携をし普及活動に努力する。

4. 会員拡大と組織の整備

（1） 会員拡大の取り組み

- ① 友愛労働歴史館と連携し、友愛会ゆかりの労働組合、労働諸団体に加盟を働き掛ける。
- ② 友愛労働歴史館および研修施設利用の団体組織と個人に対し、労使研への加入を働きかける。

（2） 事務合理化の取り組み

情報機器の活用によるコスト削減と伝達等の迅速化を図る。また定期発行資料の効率的編集を進める。

以上

参考 労働講座の趣旨と開催実績

1. 労働講座（私の労働運動史を語る）取り組みの目的

労働講座の趣旨として、永年労働運動に貢献された先輩の苦労話や経験談について、その時の社会情勢等を含めて、諸先輩の人間的側面を披露していただき、“塾”的な雰囲気重視し、現役で活躍する労働者の参考となる内容とする事です。さらに、貴重な講座をDVDに収録し、今後の労働運動に寄与する資料として活用する事にあります。

従いまして、上記目的に適った講座を労使関係研究協会（友愛労働歴史館との共催）主催と構成組織・支援組織主催（労使関係研究協会共催）の二本立てとして行う事とします。

2. 取り上げるテーマ～戦後労働運動全般

- (1) 連合（結成まで、諸活動）
- (2) 産別（労線統一の流れ、特徴的な活動～争議、春闘、最賃、共済など）
- (3) 単組（特徴的な活動～争議、春闘、経営対策、共済など）
- (4) その他

3. これまでに実施した講座

第1回 2012年4月27日（金）東京

「一般同盟からCSG連合統一までの道のり」

講師 大木明石氏（元一般同盟会長など）

第2回 2012年6月29日（金）東京

「金属労協結成の由来とその経緯～国際労働運動の中で」

講師 小島正剛氏（元IMF-JC副議長、元IMF地域代表など）

第3回 2012年10月24日（水）東京

「連合結成に至る機械金属産業労組の連携に向けた動きについて」

講師 今泉明氏（元参議院議員、元ゼンキン連合会長代行）

第4回 2013年2月26日（火）東京

「労働界の再編統一とは何だったのか～連合結成の意義を検証する」

講師 菅井義夫氏（元ゼンセン同盟副会長、元連合中小労働対策局長、全
民労協事務局次長、民間連合組織・広報局長など）

第5回 2013年4月16日（火）東京

「連合は一日にしてならず」

講師 藁科満治氏（元参議院議員、元連合会長代行など）

第6回 2013年9月20日（金）東京

- 「生産性向上と全労生の歴史～戦後日本の生産性向上運動と全労生の役割」
講師 西澤昇治郎氏（元全労生事務局長、元基幹労連執行委員長代行等）
- 第7回 2013年10月8日（火）関西
「新たなる挑戦・連合大阪結成を語る」
講師 石原利明氏（元連合大阪会長、元ゼンキン連合大阪会長など）
- 第8回 2013年11月29日（金）東京
「造船産業（石川島播磨東京支部）の民主化闘争」
講師 荒川和雄氏（元石川島播磨重工労組東京支部委員長など）
- 第9回 2014年2月4日（火）東京
「労働組合は面白い」
講師 野口徹也氏（元ゼンセン同盟副書記長、元連合副事務局長）
- 第10回 2014年4月25日（金）東京
「鉄鋼産業の民主化闘争と経済闘争—新日鉄八幡労組の軌跡」
講師 衛藤辨一郎（元鉄鋼労連委員長）
- 第11回 2014年5月22日（木）大阪
「民社党から民主党への変遷と、労組の政治活動の課題」
講師 足立良平氏（元参議院議員）
- 第12回 2014年9月12日（金）東京
「鉄鋼春闘の影響と評価」
講師 石塚拓郎氏（元衆院高木義明事務所政策秘書・元基幹労連書記次長）
- 第13回 2014年11月11日（火）東京
「全織同盟からゼンセン同盟へ」
講師：和田 正氏（U Aゼンセンシニア友の会会長、元連合東京会長）
- 第14回 2015年4月22日（水）東京
「女性運動半世紀を振り返って」
講師 高島順子氏（元連合副事務局長）
- 第15回 2015年5月28日（木）大阪
「二度の産別統合で得た体験」
講師 林司氏（元U Iゼンセン顧問、元大阪ガス労組委員長）
- 第16回 2015年6月16日（火）東京
「この道より我を生かす道なし！」
講師 服部光朗（元JAM会長）
- 第17回 2015年11月24日（火）東京
「新産業別最低賃金への転換」
講師 北浦正行氏（武蔵大客員教授、日本生産性本部参与）
- 第18回 2016年2月17日（水）東京

「労働運動へのチャレンジ 45 年」前編

講師 高木剛氏（連合顧問、前全労済協会理事長）

第 19 回 2016 年 4 月 20 日（水） 東京

「労働運動へのチャレンジ 45 年」後編

講師 高木剛氏（連合顧問、前全労済協会理事長）

第 20 回 2016 年 5 月 27 日（金） 大阪

「組織拡大にかけた我が人生」

講師 三ツ木 宣武氏（元 UI ゼンセン同盟大阪支部長）

第 21 回 2016 年 10 月 25 日（火） 東京

「外資系企業における労使交渉の現実」

講師 西原 浩一郎 氏（前・金属労協議長、現（公財）日本労働文化財団
連帯社会研究交流センター・運営委員長）

第 22 回 2017 年 3 月 7 日（火） 東京

「働き方改革と労働法制の展開～「前川レポート」の時代とその後の動向」

講師 熊谷 謙一 氏（ILO 活動推進日本協議会企画委員、元連合労働法
制対策局長）

第 23 回 2017 年 6 月 2 日（金） 大阪

「基幹労連結成への道のり」

講師 林 晃 氏（元造船重機労連逢坂地協会長）

第 24 回 2017 年 7 月 21 日（金） 東京

「この道より我を生かす道なし！ 後篇」

服部 光朗 氏（元 JAM 会長、元連合副会長）

第 25 回 2017 年 9 月 15 日（金） 東京

「民主的労働運動と共に」

相馬 末一（元ゼンキン連合書記長、副会長）

第 26 回 2018 年 6 月 27 日（水） 大阪

「連合大阪会長時代を顧みて」

川口 清一 氏（元関西電力労働組合本部執行委員長）

第 27 回 2018 年 7 月 18 日（水） 東京

「アジアにおける労働運動の展開」

鈴木 則之 氏（前国際労働組合総連合 ITUC 書記次長、アジア太平洋地
域組織書記長、国際労働財団スペシャルアドバイザー等）